

② 記入例【申請書】(イ-③) 創業者

① 計算書より自動入力された内容を確認します。※手書きは、全て記入

様5-(イ)-③

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書 (イ-③)

令和 〇 年 〇 月 〇 日

東松島市長 様

申請者

住 所 東松島市〇〇字…

② …(注2)の理由を入力(記入)します。

〇〇株式会社
氏 名 代表取締役 矢本 太郎

私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、売上高の減少 (注2) が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

(表)

1111 〇〇〇〇業		

※表には営んでいる事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を全て記載(当該業種は全て指定業種であることが必要)。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

1. 事業開始年月日

平成〇年〇月〇日

2. 売上高等

③ 手書きは、計算書を転記

$$\frac{B-A}{B} \times 100$$

減少率 5.0 % (実績)

A: 申込時点における最近1か月間の売上高等
(2024年11月)

9,500,000円 (注3)

B: Aの直前3か月間の月平均売上高等
(2024年8月 ~ 2024年10月)

10,000,000円 (注3)

東松商観第 号

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 信用保証協会への申込期間

令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで

認定者 東松島市長 渥 美 巖

(注1) 本様式は、1つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合に使用する。

(注2) には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(注3) 企業全体の売上高等を記載。

(留意事項)

① 本様式は、業歴1年3か月未満の場合に使用する。

② 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

③ 東松島市長から認定を受けた日から30日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うことが必要です。

① 記入例【計算書】（イー③）創業者

① 計算書を入力すると同時に申請書へ自動入力されます。手書きは、計算書と申請書の記入が必要です。

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書（イー③）の計算書

※入力の方は、グレー欄のみを入力

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

東松島市長 様

申請者

住所 東松島市○○字…

○○株式会社

氏名 代表取締役 矢本 太郎

② 業種名は、日本標準産業分類を参照し記入(4桁コード、業種名)

1. 営んでいる業種名

1111 ○○○○業

※営んでいる事業が属する全ての業種を記載。細分類業種は全て指定業種に該当することが必要。
※当該業種が複数ある場合には、その中で最近1年間で最も売上高等が大きい業種を左上の太枠に記載。

事業開始年月日

平成○年○月○日

2. 最近1か月間の売上高等

期間	売上高
2024 年 11 月	9,500,000 円
※認定申請書の【A】に記入	

③ 最近1か月間(Aの期間)とは
例) 申請日: 2024年12月の場合 → 2024年11月

3. Aの期間前3か月間の売上高及び平均売上高

期間	売上高
2024 年 8 月	9,500,000 円
2024 年 9 月	10,500,000 円
2024 年 10 月	10,000,000 円
3か月間 の合計	30,000,000 円
3か月間 の平均	10,000,000 円
※認定申請書の【B】に記入	

④ Aの期間前3か月間とは
例) Aの期間が2024年11月の場合
→ 2024年8月、9月、10月

4. 減少率

$$\frac{【B】 - 【A】}{【B】} \times 100 = 5.0 \%$$

※認定申請書の【減少率】に記入